

2019年11月28日

報道関係者各位

株式会社アールビーズ

ランネット

日本最大級のランニングポータルサイト「RUNNET」を展開するアールビーズ  
『市民』・『自治体』・『競技団体』・『企業』が連携 官民一体の新事業  
**「日本全国 DO スポーツ活性化プロジェクト」をスタート**  
～増田明美氏、佐々木則夫氏、杉山愛氏らが選考、  
**DO スポーツ推進貢献イベントへ“総額 1 億円”のサポートを実施～**

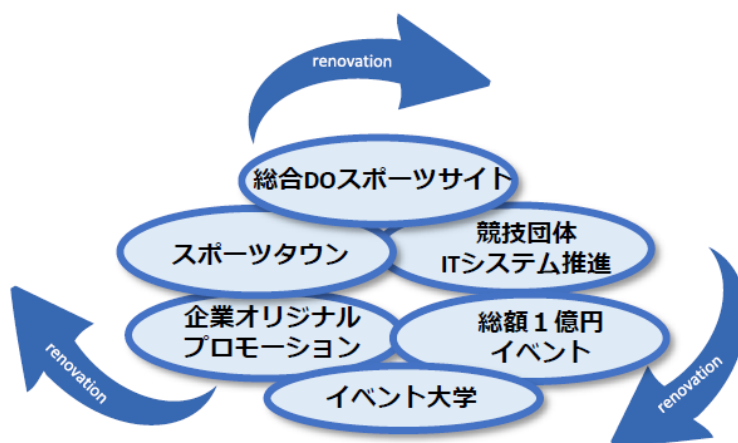
日本最大のランニングポータルサイト「RUNNET（ランネット）」を展開する株式会社アールビーズ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：橋本治朗）は、『市民』と『自治体』、『競技団体』、『企業』を結び、スポーツ振興や健康増進、スポーツを通じた地域活性化、スポーツツーリズムを推進していく官民一体の新事業「日本全国 DO スポーツ活性化プロジェクト」を2019年11月28日（木）に立ち上げます。

また、これに合わせて登録会員数 350 万人・掲載スポーツイベント数 2,000 件を超す「RUNNET」をベースとした日本最大級の市民参加型総合 DO スポーツポータルサイト「arbeee.net（アルビードットネット）」（<https://arbeee.net>）を2019年11月28日（木）にオープンいたします。

さらに本サイト上にて、スポーツの実践機会の創出を目的にスポーツイベントの企画・運営などを担う主催者に対してサポートを行う「総額 1 億円サポート企画」の募集も開始いたします。

今回スタートする「日本全国 DO スポーツ活性化プロジェクト」は、超高齢社会に突入し年金・医療費の問題や人口減少など様々な課題に直面している現代の日本において、スポーツを通じた社会課題の解決を目指しています。

物質的な豊かさよりも精神的な豊かさを求める傾向が急速に高まる中、スポーツは、精神的な充足はもちろん、健康増進や地域復興など様々な社会課題への有効性が期待されています。本プロジェクトでは、弊社がランニングに対する取り組みで培った様々なノウハウをスポーツ全般に広げることで、『市民』、『自治体』、『競技団体』、『企業』と連携し、社会に貢献していきます。

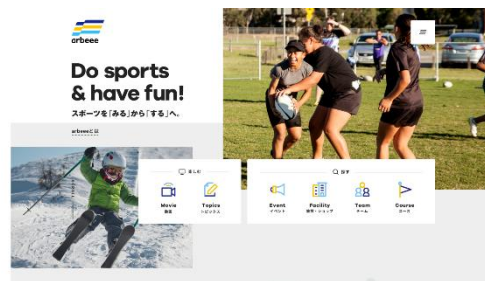


6要素がそれぞれ相互作用しながら日本全体のDOスポーツ状況が進展する

### ①市民参加型の総合 DO スポーツポータルサイト「arbeee.net」を開設

本サイトは、登録会員数 350 万人・掲載スポーツイベント数 2,000 件を超える「RUNNET」をベースとした日本最大級の市民参加型「総合 DO スポーツポータルサイト」です。スポーツ団体だけではなく、一般の方もスポーツイベントの募集ができ、「arbeee.net」上で誰でも参加申し込みができます。また全国の公営・民営のスポーツ施設 6 万件が掲載されており、本サイトを通して利用予約が可能です。その他、スポーツクラブ・ショップの情報など、DO スポーツに関する各種情報を網羅しています。

<https://arbeee.net>



### ②「総額 1 億円サポート企画」の実施

一般市民を対象にスポーツ実践の機会作りに貢献する 100 大会・イベントに対して最大 100 万円、総額 1 億円を提供するサポート企画を行います。本企画への応募は「arbeee.net」内にて受け付け、対象大会・イベントの選定はスポーツ振興に貢献している 9 名の選考委員によって行われます。

なお先行して実施が決定している大会・イベントは、渋谷区卓球選手権大会（東京・2 月）、NHK 杯全日本選抜ボウリング選手権大会（埼玉・5 月）、湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会（北海道・2 月）、昭和新山国際雪合戦（北海道・2 月）、SPORT CLIMBING JAPAN TOUR（全国各地・5～12 月）、渋谷・表参道 Women's Run（東京・3 月）、横浜みなとみらいフォトロゲイン（神奈川・4 月）です。

#### 選考委員：

荻原次晴（スポーツコメンター）、金哲彦（プロランニングコーチ）、佐々木則夫（元サッカー日本女子代表監督）、杉山愛（元プロテニス選手）、芹澤信雄（プロゴルフ選手）、田尾安志（元プロ野球選手・監督）、増田明美（スポーツジャーナリスト）、松田丈志（元競泳選手）、下条由紀子（一般財団法人ランナース財団代表理事） ※敬称略

### ③各自治体専用のスポーツポータルサイト「スポーツタウン」を展開

各自治体と包括連携協定を結ぶことで、「arbeee.net」と連携し、対象自治体の関連情報を掲載する DO スポーツポータルサイト「スポーツタウン」を展開します。本サイトを利用することで、生活区域のスポーツ情報や施設情報に簡単にアクセスできるほか、自らスポーツイベントを企画して、参加者の募集を行うことができます。

また「スポーツタウン」と同時に展開されるウォーキングアプリを使用し、地域の防災拠点をスタンプラリー感覚で巡ることで防災意識を高められる、防災とスポーツイベントを組み合わせたプログラム（防災ロゲイニング）へも参加することができます。

なお包括連携協定を締結している自治体は、本日時点で北海道網走市、北海道羊蹄山麓町村長会議（蘭越町・ニセコ町・真狩村・留寿都村・喜茂別町・京極町・倶知安町）、千葉県館山市、山梨県富士吉田市、長野県松本市、兵庫県加古川市、佐賀県です。



#### ④各競技団体と連携した IT 化推進とイベント開発

各種スポーツの競技団体にとって、少子高齢化の影響による競技人口の減少は共通の課題となっています。そこで「RUNNET」の運営で培ったノウハウを活かし、各種スポーツの活性化を図ることを目指して、競技団体運営の IT 化の推進とスポーツイベントの開発を行います。

会員登録や会費徴収等、会員管理のシステム化や団体ウェブサイトのスマホ対応などをサポートするほか、各種スポーツの普及につながるイベントを開発し、その募集や結果通知までをスマホアプリ上で完結できるよう IT 導入を支援します。

競技団体連携の第一弾として、一般社団法人全日本実業団自転車競技連盟と協力し、市民レーサーを増やすことを目的とした新シリーズ（大会）を展開することで DO スポーツ活性化を推進していきます。



#### ⑤各企業のスポーツを通じた CSR 活動を支援

スポーツに関する CSR 活動に取り組む企業とパートナーシップを結び、当社のノウハウを活かしたプログラムを共に企画・実施いたします。第一弾の取り組みとして、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と共に、同社所属のマラソンランナー・川内優輝選手が参加するマラソン大会「あいおいマラソンキャラバン」を2020年4月より全国で展開いたします。また、その模様をまとめたフリーマガジンをあいおいニッセイ同和損害保険株式会社の全国営業所で配布いたします。

また日本航空株式会社と共に《DO スポーツ×旅》で、地域活性化を目指します。その模様は「arbee.net」で配信します。

#### ⑥イベント運営者やボランティアを育成

DO スポーツの活性化には、イベントの安心安全な開催は必須条件です。これら課題を解決すべくイベント運営に精通した専門家が講師となり、そのノウハウをわかりやすく教授し、イベント運営のスペシャリストを養成します。そして希望者にはビジネスとしての独立を支援し、普及を図ります。同時にボランティアセンターをオープンし、ボランティアの募集、育成、配置などを行います。

#### ■株式会社アールビーズについて

1975年に株式会社ランナーズとして創立。翌年、国内初の市民ランニング雑誌「ランナーズ」を創刊。1985年には国内初となるマラソン大会の自動記録計測システム「RECS」を開発。その後、全国で新しいイベントの開発や大会運営受託を拡大。

1997年にランニング情報ポータルサイト「RUNNET」を開発。2019年9月末時点で国内約2,700大会のエントリー募集を取り扱い、350万人がユーザー登録。

2009年、社名を「株式会社アールビーズ」に変更。スポーツプランニングカンパニーとして、「スポーツの実践を通じて、健康で心豊かな人生を送る人々を応援する」を活動理念に掲げ、DOスポーツ領域において様々な開発や問題解決に取り組んでいる。

【本件に関するお問い合わせ先】

(株)アールビーズ「日本 DO スポーツ活性化プロジェクト」広報事務局（共同ピーアール内）

担当：斎藤・伊藤・菅野

TEL：03-3571-5228／Email：hajime.saito@kyodo-pr.co.jp